

大学生協奨学財団

2022 年度事業年次報告



大学生協奨学財団キャラクター ヘルム

私たちがめざすこと



1. 将来に希望をもち修学に意欲をもつ学生を経済面や精神面から支えることを通じて、社会に貢献します
2. 全国の大学生協とその組合員が培ってきた「たすけあい」(相互扶助)の精神と行動を、大学・社会に広げます
3. 関わる方すべての大切な財産となるよう、公正な運営と安定的な財政を目指します

2022 年 12 月

一般財団法人 全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学財団 HP : <https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/index.html>

大学生協奨学財団 Twitter : 全国大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度) アカウント名 [@univcoopsf](https://twitter.com/univcoopsf)

大学生協奨学財団がめざすこと

日本の高等教育における本人・家計負担は、国際的にも高いものになっているにもかかわらず、公的支援は甚だ不十分です。学生の多くは、日々の生活を支えるためにアルバイトでの収入にたよらざるをえない側面が強まっています。そうした中で、扶養者・家計支持者のご不幸は、学業継続により一層の困難をもたらします。

大学生協は大学生活を支える保障制度を組合員におすすしめし、育ててきました。さらに、1991 年から勉学援助制度を開始し、扶養者のご不幸に際し学業継続のための緊急支援を、全国の大学生協と組合員からの寄付で賄ってきました。この取り組みは、今日まで 28 年間にわたり続いており「たすけあい」の想いを広げ、培ってきました。

その想いを日本の大学・社会に大きく広げるために、全国の大学生協は、全国大学生協連を設立者として、その法人化 60 周年を記念する年に大学生協奨学財団を立ち上げました。これまで以上に、全国の大学生協と大学生協奨学財団が連携した取り組みを行い、日本の社会と大学に「たすけあい」の想いを広げることがめざします。

給付を通じて全国の大学生協の、顔のみえない仲間から援助があったことが受給者の心の支えにもなっています。

大学生協奨学財団は勉学援助制度の想いを継承し、緊急時の経済的・精神面な支えを広げ、社会に貢献をします。

大学生協は、組合員のたすけあいの組織として生まれ、大きく発展してきました。今では、大学コミュニティのみならず社会的にも注目される重要な存在となっています。これまでもユニセフ募金や被災地支援など、組合員の協同の想いが形になり社会に貢献してきました。同じように、大学生協の無い大学の学生も視野に入れながら、奨学金がすべての応募者に給付できること、新たな奨学内容を盛り込んだ制度を拡大することが願いです。

大学生協奨学財団は、これまで培ってきた「たすけあい」の想いと行動を土台に、すべての高等教育機関に「たすけあい」の取り組みを広げることで大学生協の価値を高めることにも貢献します。

学びの機会をあきらめたくない学生のためにも、「たすけあい」の想いに賛同する人・団体を、他の協同組合・企業等に拡大し、関わる方すべてに、大学生協奨学財団へ貢献することが、学生を応援し、社会の財産になると感じられるようにしていきます。

大学生協奨学財団は、大切な財源を管理し、公正で安定的な運用をめざします。

私たちは、全国の大学生協とともに、めざすことの内容を具体化し、奨学金給付をはじめとする事業の内容及び規模で社会に誇れる「大学生協奨学財団」をつくりあげ、大学生協とともに、大学社会・日本社会に「たすけあい」の想いと協同の精神を広げ、学生の修学支援をして社会貢献をしていきます。

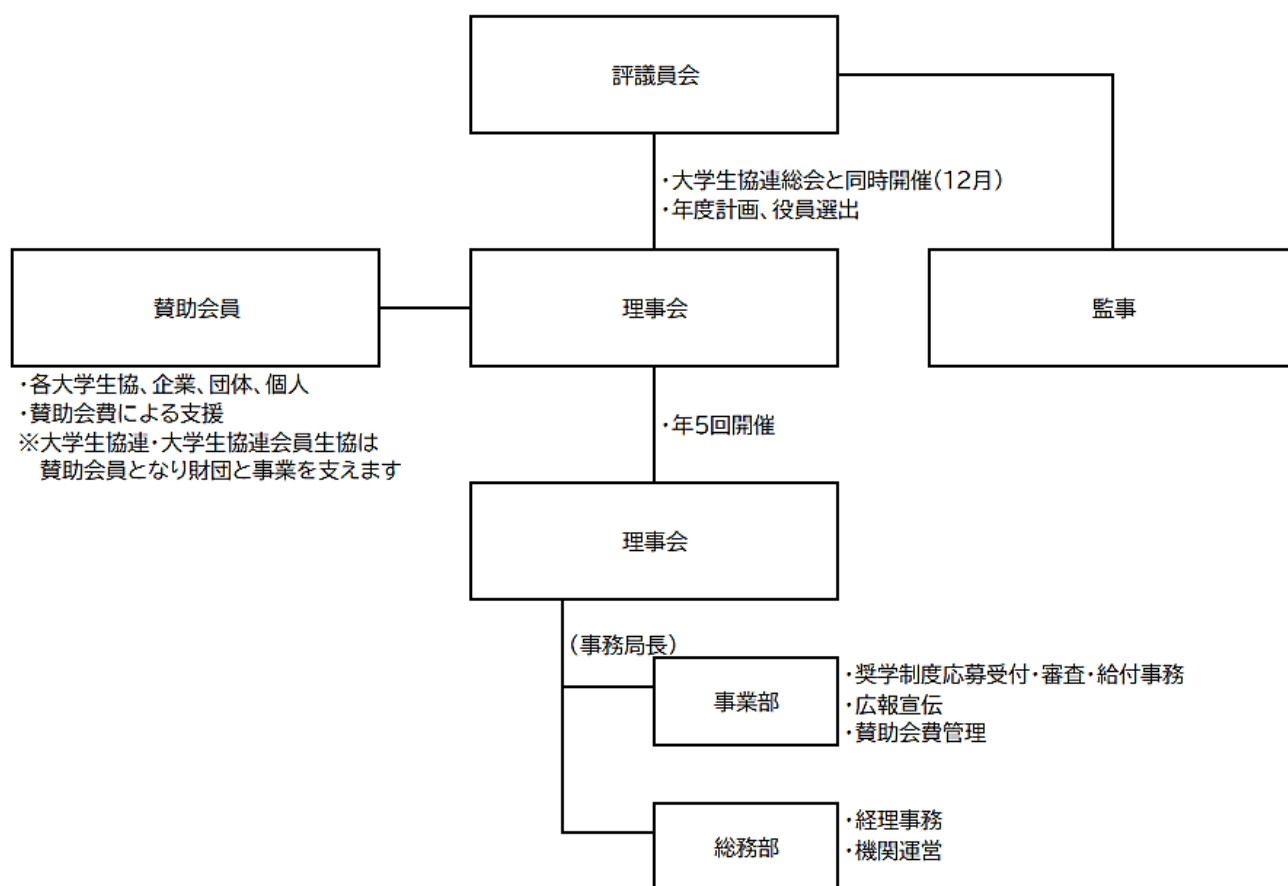
2019 年 12 月 14 日
一般財団法人 全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学財団・たすけあい奨学制度 概要

組織概要

- ◆名称 一般財団法人全国大学生協連奨学財団(略称:大学生協奨学財団)
- ◆代表理事 理事長 生源寺眞一
(全国大学生協連組合連合会会長理事、福島大学食農学類教授・食農学類長)
専務理事 中森一郎(全国大学生協連組合連合会専務理事)
- ◆法人設立 2018 年 12 月 20 日
- ◆設立者 全国大学生協連組合連合会
- ◆事業年度 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日
- ◆事業 奨学事業(大学生協奨学継続奨学制度)
- ◆主たる事務所 東京都杉並区和田三丁目 30 番 22 号 大学生協杉並会館
- ◆連絡先 zaidan@univ.coop(奨学財団事務局)
03-5307-1111 (平日 10:00~16:00)(全国大学生協連代表)

組織図

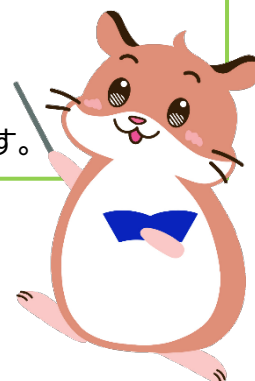


「たすけあい奨学制度」とは

正式名称を「大学生協学業継続奨学制度(愛称:たすけあい奨学制度)」といいます。扶養者を亡くして経済的に学業を続けることが困難になっている学生に対して、緊急支援として返済不要の10万円を給付することで、学業継続を応援する奨学制度です。

※ただし財政的な制約により、審査に基づいて学業継続環境が厳しい方を優先して給付を行います。

この制度は、成績の良し悪しではなく、扶養者を亡くされて困っている学生の「学業を続けたい」「大学で学んで夢をかなえたい」という想いを応援しようとする全国の皆様や大学生協からの寄付を主な財源としている「たすけあい」奨学制度です。



「たすけあい奨学制度」の特徴

1.「大学生協のある学校であれば」在籍中に扶養者を亡くされた、全ての学生が応募できます

この制度は、2020 年から運営を一般財団法人全国大学生協連奨学財団が行い、大学生協のある学校に在籍している大学生・院生・高専生・専門学校生を応募の対象としました。このことで応募対象者を大学生協組合員の学生のみに限定せず、広く学生を支援していくことを目指しております。

※応募対象の学校等は、当財団 HP に掲載しております。

※財政が充実していけば、応募対象の範囲も広げていくことを考えています。

2.奨学金は返還不要の給付型です

3.応募受付を毎日行っており、必要書類が揃えばすぐに審査・給付できます

扶養者が亡くなった際の緊急援助制度としても役立っています

困っている学生に早く奨学金を届けられるよう、毎日応募を受け付けております。

また、財団 HP から WEB による応募もできます。

4.授業料免除や他の奨学金を受けていても応募できます。人数による給付制限もありません

※ただし、応募期限(扶養者死亡日から 1 年以内の応募)に関する条件があります

5.「学び続けたい」「夢を実現したい」と頑張っている学生を精神的にも応援します

この制度の給付金額は 10 万円ですが、給付を受けた学生たちからは、全国の皆様からの寄付による応援に対する御礼とともに、「精神的に支えられた」との声が多く寄せられています。

また当財団 HP や Twitter では、給付を受けた学生から同じ境遇の学生へのメッセージを掲載し、励ましあいを進めています。

たすけあい奨学金 応募・給付の状況

年度	応募		審査		給付		奨学金 給付率	給付金額 (万円)
	大学数	人数	大学数	人数	大学数	人数		
2022 年度	158	527	159	509	150	412	80,9%	4,096
2021 年度	141	411	134	401	121	308	76,8%	3,044
増減	+17	+116	+25	+108	+29	+104	+4,1%	+1,052

☆当制度は、大学生協連の勉学援助制度を引き継いでいます。

勉学援助制度を開始した 1992 年からの累計では **5,147 名に 7 億 1,918 万円を給付**しています。

2022 年度の審査人数は 509 名となり、昨年度より 108 名増加しました。

また、応募から 1 年以内に審査を辞退された方・1 年を過ぎて応募無効となった方は 5 名でした。

※応募から 1 年以内(審査途中で卒業した場合は 6 ヶ月以内)に審査書類を揃えることが 1 つの条件です。

2022 年度の給付人数は 412 名となり、昨年度より 104 名増加しました。

2022 年度の給付金額も 4,096 万円と、昨年度より 1,052 万円増加しました。

2021 年度と比べて、より多くの扶養者を亡くされた学生の役に立つことができました。

コロナ禍により学生の生活が厳しい実態は、当制度の応募の中にも見られます（以下応募より一部抜粋）

- ◆ なるべく親に迷惑をかけずに自分の生活費を賄いたいという思いから、大学 1 年生の頃から奨学金を借りてアルバイトをしていました。しかし、授業課題との両立の為沢山シフトに入れなかったり、新型コロナウイルスの影響でアルバイト先が閉店してしまったりと、ゆとりのある生活を送ることができる程の収入を得ることができておらず、切り詰めた生活をするので精一杯な状況です。
- ◆ コロナウイルス感染症の影響も重なり、扶養者である母の収入が減少してしまい、学業の継続が困難な状況になってしまいました。今では貸与型と給付型の奨学金を併用し学費をやりくりしている状態です。
- ◆ 以前より経済的に豊かとは言い難い家庭状況であり、授業料免除等の制度も利用させていただいておりましたが、2021 年に父が肺炎で入院。予後は順調に思われましたが、入院していた病院内で新型コロナウイルスの集団感染が発生、緊急を要するとの判断で PCR 検査陰性確認後に退院となりました。しかしその後感染がわかり、父のみでなく母や私自身も感染者となりました。父は 6 月に闘病を乗り越え退院となりましたが、後遺症として酸素吸引器が必要となり、寝たきりとなってしまいました。父には「要介護 5」の判定が下り、母は仕事を辞め私と介護に励みました。その後父の体調は徐々に悪化し、逝去しました。

たすけあい奨学金 応募・給付の特徴

応募について

「当制度を知り応募したきっかけ」について、当年度 1 年間のアンケート結果は以下の通りです。

選択項目	回答数
A 大学生協窓口の案内で	168
B 学生総合共済の書類に同封された案内を見て	120
C 家族に聞いて	59
D 大学の学生支援課等の案内で	120
E 自分でポスター・チラシを見つけて	20
F 大学生協奨学財団の HP を見て	32
G その他	10



【大学生協窓口の案内で】…生協組合員が親扶養者の死亡の共済金請求について窓口で相談する際に、各生協窓口にて応募用紙をお渡しし、当制度へ応募できる旨をご案内しています。

【学生総合共済の書類に同封された案内を見て】…CO・OP 学生総合共済の加入者が、親扶養者の死亡保障の共済金給付を受ける時にチラシが送られます。

➡応募者の約 7 割は、学生総合共済の共済金給付の相談・申請を行い、その際に当制度を知っています

ただし、学生総合共済の父母・扶養者死亡保障の共済金給付件数は、毎年 1,000 件を超えております。2022 年度の応募者が 527 名という点でも、加入者に限ったとしても当制度を知らずに応募をされていない学生が多いと考えられます。共済金相談・申請時のご案内も大切ですが、それ以外にも扶養者を亡くされた学生が当制度を知る機会をより多く整えることが大切です。

引き続き、各大学生協のポスター・HP をはじめとする宣伝で広く知らせるとともに、大学に協力いただいで学生支援課等からの案内を強化することで、共済加入者以外の学生にも広く周知できる環境を整えます。

給付について

奨学財団理事会では、新型コロナ禍特別対応を 2022 年 12 月末まで延長する措置を行いました。

※新型コロナ禍特別対応…応募された学生への給付審査基準の緩和対応です。当制度は審査において、合計 40 ポイント以上の学生に奨学金を給付しています。全員に 20 ポイントを付与する新型コロナ禍特別対応を行うことで、全体のポイントを底上げしています。

新型コロナ禍特別対応により、**従来の審査基準では対象外となるはずでした 81 名の学生に奨学金を給付することができました。**また、審査に対する奨学金給付率は、**80,9%と昨年度より 4,1%も向上しました。**

給付を受けた学生の皆様より多くの御礼が寄せられました

▼2022 年度に奨学金給付を受けた学生の皆様からたくさんの御礼・メッセージが寄せられています。
(以下、抜粋)

♥松山大学 3 年

全国の仲間への御礼とひとこと

今とても充実した大学生活を送っていて、父が亡くなったことによりそれが絶たれてしまう可能性があります。しかし、この奨学制度のおかげで、その心配もなく卒業することができそうです。

同じ境遇にある学生にひとこと

どうしようもない理由だけで、今何かをやめてしまうことは、本当に後悔の残ることだと思います。このような奨学制度に頼ることで、学校を続けることは可能なことだと思います。なので、小さな希望でも、少しでも抱えていることがあるのなら、応募するべきであると、私は思います。

♥九州大学 4 年

全国の仲間への御礼とひとこと

今回、父が他界したことをきっかけにこのたすけあい奨学制度を知りました。しかし、これまで多くの方が思いやりの寄付をしていたと知って驚いたと同時に尊敬の気持ちが湧いてきました。金銭面において不安な日々を送っている中で、目には見えない多くの方々の温かい心遣いに触れる機会を頂けて大変ありがたく思います。奨学金を授業料の支払いに使わせていただき、安心して学業に励みたいと考えています。

同じ境遇にある学生にひとこと

今回、金銭的な支援だけではなく精神的な支援もいただけたように思います。このような優しさに溢れた制度を少しでも多くの辛い思いをしている方に知ってほしいです。辛い境遇ではありますが、より一層学業に励んでいきましょう。

♥東北学院大学 2 年

全国の仲間への御礼とひとこと

この奨学金の制度を通して皆様の温かい気持ちに触れて感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に勉学により一層力を入れて、他に困っている学生の方がいれば何か力添えできればなと思います。本当にありがとうございます。

頂いた奨学金は学費に使わせてもらいます。

同じ境遇にある学生にひとこと

父が亡くなってからこのまま学生生活が送れるか正直不安でした。しかし、この制度を知って助けられて何とか続けることができています。なのでどうか学生生活を諦めることなく最後までやり遂げてほしいと思っています。

♥武蔵大学 3 年

全国の仲間への御礼とひとこと

この度はご支援いただき本当にありがとうございます。頂いたご支援を無駄にせず、自分の成長につなげていくために努力しようと思います。頂いたご支援は学費の一部に充てようと考えています。もっと様々な人に伝わるようになればと思います。私自身大学の担当の方が親身になってくれたので、この制度を知ることができましたが、それではなければ分からなかったと思います。様々な助けがあることを知ってもらいたいです。

同じ境遇にある学生にひとこと

辛く苦しく、今自分が何をすべきか分からず、とても不安だと思います。しかし、そういう時に支えてくれる人は必ずいます。苦しいときは遠慮なく頼りましょう。そして、次はあなたが同じような境遇の人にとって頼れる立場の人になれるように努力しましょう。

♥ 静岡大学 5 年 全国の仲間への御礼とひとこと 学費(大学の授業料)、生活費、帰省等の費用に充てます。 同じ境遇にある学生にひとこと 自分も急な事で頭が一杯になってしまい、身の回りにあるやらなければいけないことが手につかない様な状態になったりもしました。ですが、この制度のように困ったときに手を差し伸べてくれる団体も存在するので投げやりにならずお互い頑張っ生きてきましょう。	♥ 北海道教育大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと 何かあったとき、万が一の時助けてくださる制度や皆さまがいて今回非常に感謝しております。主に学費のため使用させていただきます。 同じ境遇にある学生にひとこと もし何か万が一のことがあった時、もしかして学業をあきらめざるをえないと考えた時、様々な支援があります。あきらめなくても大丈夫だと、少しでも希望を持ち歩んで行ってほしいと願います。
♥ 広島修道大学 2 年 全国の仲間への御礼とひとこと 私のように、学生生活が送れるように、学生に学習ができるように手を差しのべてくださり、ありがとうございます。主に学費に充て、安定した学生生活を送ることができるために活用させていただく予定です。 同じ境遇にある学生にひとこと このような苦しい境遇にあるのは、あなただけではありません。自分だけだと思って閉ざしてしまうのではなく、他にも同じような人はいて、頑張っていると思ってほしいです。一緒に頑張っ乗り越えましょう。	♥ 阪南大学 3 年 全国の仲間への御礼とひとこと 人の思いやりと優しさに助けられました。父が休止して家族が悲しみと不安の中、この奨学金制度を知り応募させて頂きました。全国の皆さんの優しい気持ちにとっても感謝しております。大切な給付金は勉学の継続に充てさせていただきます。そして、私が社会人になったら贈る側の立場になれるように努めます。この制度はととても必要で私のような境遇の学生を 1 人でも多く救っていただきたく思います。 同じ境遇にある学生にひとこと 私は今まで親に甘えて自立できていなかったことを考えさせられました。当たり前と思っていた進学も大学に行ける事の感謝を日々痛感しております。これからの人生は後悔しないと願っています。
♥ 慶應義塾大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと 寄付してくださる方々に深く感謝いたします。父が亡くなり、母一人の収入では不安があるため、少しでも学費や生活費に充てようと思います。 同じ境遇にある学生にひとこと 親を失ったことを未だに受け入れきれしていない部分があり辛い日々もありますが、今はやるべきことをやるしかないと思っています。同じような境遇の方が他にもいると思うと心強いです。お互い頑張っましょう。	♥ 立命館大学 3 年 全国の仲間への御礼とひとこと この度はたすけあい奨学金を贈っていただくための一次審査を通過させていただき、本当にありがとうございます。もし奨学金をいただけることになれば、学費に充てたいと考えています。 同じ境遇にある学生にひとこと 身近な人が亡くなった悲しみや学校に通えなくなるかもしれない不安でいっぱいだと思います。一緒に乗り越えましょう。

♥岡山大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと ご支援いただき本当にありがとうございます。いただいた善意を忘れず、自分も誰かのために力になれるように現在の専門分野を頑張りたいと思います。この奨学金は、進学する大学院での生活費に充て、学業と研究に専念したいと思います。 こうした素晴らしい制度がもっと広がり、より多くの学生が学業と研究に専念できるようになれば嬉しいです、協力できるような人になれるように頑張ります。 同じ境遇にある学生にひとこと 僕が研究者として尊敬している、IPS 細胞を発見した京都大学の山中教授の座右の銘に「人間万事、塞翁が馬」という言葉があり、長い人生では楽しい事や嬉しい事もあれば、辛い事や悲しい事もあるけれども、何が幸福で何が不幸かは直ぐに決まるものではないという意味があります。ひたむきに何かに取り組んでいると、悲しい事も巡りめぐって自分の力になると思います。一緒に頑張りましょう。	♥山形大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと 奨学金を贈ってくださる皆様に心から感謝いたします。このような制度を設け、運営してくださっている方々、また寄付してくださっている方々がいることを知り、とても心温かい方々がいることを知るきっかけになり大変嬉しく思います。いただいた奨学金は、学費と生活費に充てたいと考えています。本当に感謝申し上げます。 WEB で簡単に応募でき、とてもやりやすくてよかったなと思います。このような制度を作っていただき本当にありがとうございます。 同じ境遇にある学生にひとこと 親を失い、不安な気持ちや悲しい気持ちでいっぱいだと思いますが、このような制度を設け、また寄付してくださるような支えてくれる方々があります。このような支えてくれる存在がいることを忘れずに励みとして、一生懸命前に進んでいけばいいことばかりではなく、大変なこともあるかもしれませんが必ずいいことが起こっていくと思います。このような経験を乗り越えればとても強い人になっていけると思います。同じような境遇の人が他にもいます。支えてくれる人がいます。共に頑張っていきましょう。
♥信州大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと 本当に感謝申し上げます。幼い頃に母と離別し、今回父と死別した私にとってたすけあい奨学金の存在は本当に大きいものでした。大学で下宿しておりますので、生活費と学費に使わせていただきます。 同じ境遇にある学生にひとこと 辛い日々が続きますが、ゆっくり歩いて、自分と向きあえる機会にしましょう。いつか乗り越えた時、新しい自分と出会えるように、またこのたすけあい奨学制度のように、誰かを支えられる人になりたいです。	♥宮崎大学 4 年 全国の仲間への御礼とひとこと この度は、ご支援いただきありがとうございました。父の突然の他界により、悲しみと不安でいっぱいでしたが、皆様の温かいお心遣いにとても救われました。今回の奨学金は、今後の学業継続のために使わせていただきたいと考えております。大学に引き続き在籍し、勉学に励むことができることにとても感謝いたします。 同じ境遇にある学生にひとこと とてもつらく、先が見えないこともあると思いますが、どうか希望を捨てないでほしいと思います。

当財団 HP でも、給付を受けた学生の皆様からの御礼やメッセージを掲載しています(毎月更新)

寄付・賛助会員の状況

多くの皆様のご理解・ご協力により、昨年よりもさらに寄付金額・賛助会員数を大きく増加することができました。多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

寄付について

年度	合計寄付金額 (円)	内訳		寄付人数 *3
		大学生協を通した寄付 (円) *1	その他からの寄付 (円) *2	
2022 年度	46,547,217	17,243,913	29,303,304	5,546
2021 年度	33,900,558	19,312,198	14,588,360	5,763
増減	+12,646,659	-2,068,285	+14,714,944	-217

*1・・・大学生協のある学校の学生・教職員からの寄付(主に 3 月卒業の学生からの寄付、大学生協設置の募金箱)

*2・・・大学生協のない学校の学生・教職員、一般の方、団体・企業、大学生協連等からの寄付

*3・・・報告のあった人数のみ記載

2022 年度は約 4,654 万円の寄付をいただくことができました。(昨年度より約 1,264 万円増加)

寄付金額・賛助会費を合わせた総額は約 6,938 万円です。当奨学制度の約 67%が、多くの皆様の寄付により支えられています。

【大学生協を通した寄付】

金額は昨年よりも減少しておりますが、ご協力いただいた大学生協数に関しては、昨年度より 9 生協多い 99 生協にご協力いただきました。特に、2022 年 3 月卒業生への寄付呼びかけ、募金箱による寄付呼びかけについて、大変ご尽力をいただいております。各大学生協様のご協力に感謝申し上げます。また、新型コロナ下でご自身の生活も厳しい中、卒業生の皆様から後輩の学業継続のためのご厚意をいただけたことに大変感謝するとともに、心温められました。

大学生協からの寄付について参考 ※大学の規模もありますが、多くの方々から寄付協力をいただいております

●100 万円以上の寄付金額・・・慶應義塾、芝浦工業大、立命館

●100 名以上の寄付人数・・・弘前大、宮城大、武蔵学園、芝浦工業大、東京学芸大、麻布大、信州大、愛知大、中京大、金沢大、同志社、龍谷大、大阪電気通信大、高知大、松山大、岡山大、高知県公立大

【その他からの寄付】

新型コロナで甚大な被害を受けた大学生への支援として、生活協同組合コープあいち様より 800 万円をご寄付いただきました。

コープ共済連の皆様による子ども・学生未来応援プロジェクトの一環として、CO・OP 共済マイページに利用登録及びお手続きをした場合、1件につき50円を支援活動応援助成に寄付する取り組みを行っていただきました。この取り組みにより、約 1,471 万円をご寄付いただきました。

賛助会員について

年度	会員数（口数）					
	大学団体 賛助会員Ⅰ	大学団体 賛助会員Ⅱ	特別団体 賛助会員	一般団体 賛助会員	個人 賛助会員	合計
2022 年度	2(10)	173 (1,011)	6(25)	0(0)	47(130)	228 (1,176)
2021 年度	2(10)	161(967)	5(24)	0(0)	28(87)	196 (1,088)
増減	-(-)	+12(44)	+1(1)	-(-)	+19(43)	+32(88)

* 賛助会費1口金額・対象など
 大学団体賛助会員Ⅰ・・・1口100万円(大学生協連、大学生協共済連が対象)
 大学団体賛助会員Ⅱ・・・1口1万円(主として大学生協連の会員が対象)
 特別団体賛助会員・・・1口10万円(主として大学生協のお取引先企業)
 一般団体賛助会員・・・1口1万円(財団の目的・事業に賛同する法人・団体)
 個人賛助会員・・・1口2千円

**2022 年度は 2,261 万円の団体賛助会費、23,2 万円の個人賛助会費をいただくことができました。
 (昨年度より 54,8 万円増加)**

賛助会員の数は、合計 228 会員・口数は 1,176 口でした。(昨年度より 32 会員・口数は 88 口増加)

大学団体賛助会員Ⅱで 13 会員、特別団体賛助会員で 1 会員が新たに加入しました。

2022 年度新規加入団体について参考

大学団体賛助会員Ⅱ・・・旭川大、東京工業大、神奈川大、新潟青陵・短期大、前橋工科大、三重短期大、
 三重県立看護大、京都工芸繊維大、京都橘学園、大阪千代田短期大、山口県立大、
 中国・四国事業連合、大学生協事業連合

特別団体賛助会員・・・全国労働者共済生活協同組合連合会<こくみん共済 coop>

クレジットカードによる賛助会費支払いを含む、当財団 HP での加入案内を進めています。
 19 名が新たに個人賛助会員に加入されました。引き続き加入案内・宣伝を続けてまいります。



寄付者・賛助会員からのメッセージ

♥ 無事に卒業し、就職もすることができました。困難があってもあきらめず学業を続けてください。応援しています。そして、大学へ行けなかった人のために役立てるような人を目指していきましょう。私も頑張ります。(愛知教育大学 卒業生)

♥ 国の政策によって教育を受ける権利が保障されることが最も大切と考えますが、私たち大学生協で行う様々な「たすけあい」が経済的理由で就学に困る学生への一助となることを願っています。
 (大学生協職員、賛助会員)

♥ コロナでバイトできず、大変だろうと思います。私はまだ金銭的に余裕がなく、少額ではありますが、お役に立てれば幸いです。本学での学びは私にとって大切に貴重なものでした。皆さまにとってもそうなるように願っております。(広島大学生・5,000 円寄付)

大学生協奨学財団の取り組み

各学校の奨学金担当者様へ「当制度ご紹介に関するお願い」を発送しました

2021年10月、「たすけあい奨学制度」を必要とする多くの学生へより広く知っていただくことを目的とし、大学生協のある各学校・各キャンパスの奨学金・学生支援担当者様宛 213 件に、当制度の案内と学生へのご紹介に関するお願いを、チラシ・応募用紙等の販促物と一緒に発送しました。

これまでは、大学生協窓口を通じてチラシ・応募用紙の設置等の広報活動をお願いしており、学校へ直接お願いするのは初めての試みとなります。当制度は大学生協を通じて知られることが多く、応募者も生協組合員が大半でしたが、ご案内をお送りした後は徐々に非大学生協組合員(大学を通じて当制度を知った学生)からの応募が増えてきております。

新型コロナ禍特別対応を延長し、奨学金給付率を維持しました

新型コロナ禍特別対応終了時期を、2022年2月末から2022年12月末に延長することを理事会で決定し、このことにより奨学金給付率を維持しました。(詳細は6ページに記載)

一般問合せ用の電話番号・問い合わせフォームを開設しました

2021年12月末までは、共済・保険サポートダイヤルで一旦受電を行い、財団事務局より折り返しご連絡を行っていましたが、直接の対応が可能となる一般問合せ用電話番号(03-5307-1126)を開設いたしました。また、平日昼間に電話をかけることが難しい方にも対応できる様、当財団HP内にお問合せフォームを作成しました。このことにより、電話・メール両方での問合せに対する対応をスムーズに行っております。

「ヘルム」のラインスタンプをリリースしました

2021年10月、大学生協奨学制度推進委員会により、当財団キャラクター「ヘルム」がLINEスタンプとしてリリースされました。「ヘルム LINE スタンプを広め、たすけあい奨学制度を広めましょう」という目的のもと、大学生協関係者の皆様を中心とする宣伝によって、より当制度を広め支えていただく助けとなっております。(宣伝を目的としておりますが、スタンプ購入代の一部をご寄付いただきました。)



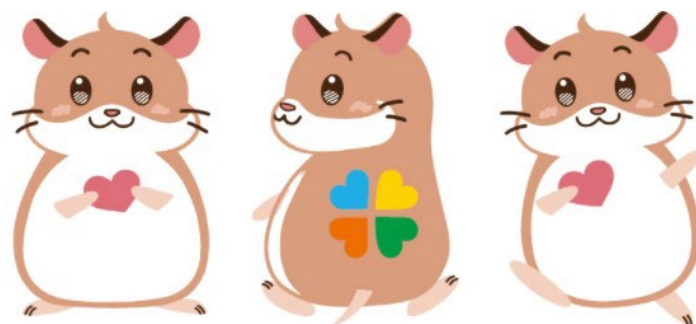
リンク先: [ヘルム\(たすけあい奨学制度\) - LINE スタンプ | LINE STORE](#)

「ヘルム」ぬいぐるみを作成、HP 用バナーを更新しました

たすけあい奨学制度の認知を高め、また広めていくためのツールとして、ヘルムぬいぐるみを作成しました。2022 年 1 月には、寄付キャンペーンを行いました。団体では大学生協へ、個人では大学生協連会員生協役員・学生委員会を対象として、1 体につき頒価 1,500 円以上のご寄付をいただく形で頒布いたしました。

…団体では 71 生協 83 体 寄付金額 235,020 円、個人では 24 名 24 体 寄付金額 78,500 円の合計 313,520 円を、こちらの寄付キャンペーンでご寄付いただきました。

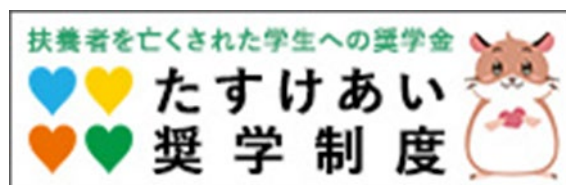
現在も必要に応じて各大学生協にご注文いただくことで頒布を継続しております。募金箱の隣に設置していただくなど、生協窓口を中心としてご活用いただいております。



☆名前「ヘルム」

2022 年 9 月には HP 用バナーデザインを更新するなど、販促ツールを必要に応じて更新しております。学生へ届く情報が新しいものであるために、今後も大学生協へ販促ツールの周知を行っていきたいと思います。

【参照:HP 用バナーの更新】



学生が見つけやすい様「奨学金」の言葉を入れました。
当財団キャラクター「ヘルム」を入れました。

全国教職員セミナーで活動報告と PR 活動を行いました

2022 年 9 月に横浜国立大学を会場とした全国教職員セミナーが行われました。セミナー内で 20 分財団理事の高木先生より活動報告を行っていただきました。また、財団 PR 活動として、同会場内でヘルムぬいぐるみ・募金箱等を設置し、募金の呼びかけや財団の案内を行いました。(28,000 円の募金をいただきました)

各大学生協の取り組み

たすけあい奨学制度の充実・推進活動、寄付呼びかけなどの取り組みが進められました。

各ブロックを通じた、賛助会員未加入生協へ加入の呼びかけ

東京ブロックでは、8 大学生協の専務理事へメールで呼びかけを行っていただきました。また、関西北陸ブロックでも同様に呼びかけを行っていただきました。結果、計5大学生協より新たにご加入いただきました。

出資金返還案内の中で、当制度への寄付を掲載

各大学生協より 2021 年 3 月卒業生へ出資金返還に関するご案内を行う際に、併せてたすけあい奨学制度のご案内・寄付のお願いを行うことを推進しております。卒業生からの出資金返還の際にいただく寄付金は、当制度における大きな財源の1つとなっております。

卒業される組合員の皆様へ

◎扶養者を亡くし、緊急に援助を必要としている後輩がいます

～学業継続が困難になる仲間を援助する
「たすけあい奨学制度」充実のための寄付をお願いします

2022年3月卒業予定の組合員の皆様へ在学中は生協をご利用いただき、また生協の諸活動にご参加いただきありがとうございました。皆様が実社会に出られても、お元気で活躍されることを期待いたします。
(2021年9月末現在)

大学生協は、在学中に扶養者を亡くされ経済的に困難になった仲間、学業を継続してもらうための支援をおこなう「たすけあい奨学制度」に取り組んでいます。

1992年の創設以来、これまでに14,191名の応募があり、この内4,733名に奨学金を支給し、不幸にも扶養者を亡くされた学生の学業継続を応援してきています。その支給総額は6億7,567万円になりました。
(2021年9月末現在)

なお、この1年間(2020年10月～2021年9月)では411名から応募があり、306名に3,024万円を贈ることができました。財政的な事情により応募者全員に支給というわけにはいかず、経済的困難の大きい学生に奨学金として10万円を支給しています。

この制度の資金のほとんどは、全国の学生・院生・教職員の皆様と、各大学生協からの寄付金によって支えられています。学生の寄付の多くは卒業後の出資金返還の際、その一部を後輩のために寄付していただく形になります。

皆様のご協力により、毎年全国合計で約3,900万円の寄付が寄せられています。1人でも多くの後輩にこの援助ができれば、出資金の一部などの寄付に、どうかご協力をお願いします。心よりお願い申し上げます。

一般財団法人全国大学生協連奨学財団
TEL 03-5307-1126 (受付時 10:00～16:00)
E-mail: taisaijin@jnuu.ac.jp

詳しくは特設ページ「たすけあい奨学制度」

扶養者を亡くされた後輩の学業継続を応援するために下記金額を寄付します。

寄付金額 円 年 月 日

氏名 学名

卒業生やこの制度へのメッセージがありましたら是非お聞かせください。(氏名公表までご協力をいただくと幸いです)

↑ 卒業生へ寄付をお願いするチラシ(財団作成)

出資金返還の際にご検討ください

全国の仲間のために寄付をお願いいたします。
大学生協たすけあい奨学制度への寄付

在学中に扶養者を亡くされ、厳しい環境の中で学業を続ける仲間が全国に大勢います。大学生協では「大学生協たすけあい奨学制度」を設け、扶養者を亡くされ学業継続が経済的に困難になった学生を支援する活動に取り組んでいます。たすけあい奨学制度の財政は、この制度に賛同いただいた企業・団体・個人の皆様からの寄付金によって成り立っています。

一人でも多くの学生が学業を継続できるよう、是非とも寄付にご協力いただきたくお願い申し上げます。寄付金は、全額奨学金の給付に使用されます。

たすけあい奨学制度の概要
https://www.jnuu.ac.jp/tasukeai/

寄付はこちら
https://www.jnuu.ac.jp/tasukeai/

給付を受けた東京大学の学生からのメッセージ

～全国の仲間への御礼とひとこと～
父が亡くなったお金のことが多かったり、お母さんが、収入がなくなってしまい、生活費が非常に大変な状況でしたが、このように支援していただけたおかげで、安心して勉強することができました。支援していただいた奨学金は本当に助かりました。ありがとうございました。

～同じ境遇にある学生にひとこと～
正直な話、自分もまだに立ち回れていない部分もあります。これから頑張りたいと思っています。支えに感謝しながら頑張ります。ただ、今回の制度のおかげでこのような境遇にある仲間を支援してくれてくれる人がいるので、つらいことがあっても立ち回れるように頑張ります。

～全国の仲間への御礼とひとこと～
たすけあい奨学制度に寄付をしていただきありがとうございます。自分が学生で、アルバイトに励むこともなく、学業、研究に専念できそうです。奨学金が本当に助かりました。後輩の一人であることを考えておきます。父が亡くなった後、コロナのためお母さまもなくなり、母や、一人暮らしをしている私は、特に大変な状況でした。奨学金や奨学金などで助けてもらっています。

～同じ境遇にある学生にひとこと～
いろいろな事情を抱えていると思います。あまり1人で抱え込まず、誰かに話そうと思います。

東京大学校友会のご案内
東京大学の学生組織である東京大学校友会(以下、校友会)は、東京大学の在学生・卒業生や構成される組織です。下記のページは、校友会個人会員である皆様へ、卒業・修了にあたってのご案内です。
https://www.tu.ac.jp/kyoukaikai/

学生会のご案内
学生会は、国立七大学(京大・東大・東北・京大・東大・阪大・九大)の在学生・卒業生、教員約4万人からなる総合学生団体です。
学生会 webサイト
https://www.gakushuukai.or.jp/

全額納入はこちら
https://www.jnuu.ac.jp/tasukeai/

↑ 大学生協作成のチラシ内に掲載(例:東京大生協)

「たすけあい奨学制度」への寄付

あなたの出資金を後輩のために役立てませんか？

大学生協は、在学中に扶養者を亡くされて困っている学生・院生の「学業を続けたい」、「大学で学んで夢をかなえたい」という想いを応援するために「たすけあい奨学制度」に取り組んでいます。

この制度は、大学生協連の奨学援助制度を引き継いでおり、奨学援助制度を開始した1992年から「奨学援助制度+たすけあい奨学制度」の合計では、13,892名応募があり4,513名に6億5,632万円を給付しています。(2020年12月現在)

その財源の多くは3月に卒業された学生の皆様から寄付をしていただいたものです。先輩から後輩の学業継続への温かな贈り物となっております。より多くの皆様に寄付へのご協力をお願い申し上げます。

[☐ 詳細はこちらをご覧ください](#)

↑ 大学生協 HP 内での WEB 掲載(例:早稲田大生協)

今後の課題

2022年度は、給付を受けた学生の皆様より407通のアンケートが寄せられました。その内、当財団へのご要望・ご意見に関する項目では「認知度が低いので、もっと広めてほしい」「とても良い制度なのでこれからも続けてほしい」というお声を多くいただきました。

課題① 学校との連携強化

- ◆近親者が亡くなったとき、お金のことで悩みがあっても、自分で支援を探すには、あまりにも精神的、肉体的に厳しいことがあります。学務課の方が教えて下さるまで、私はこのような支援をしてくださる所があると知りませんでした。大学にて亡くなったとの連絡が学生からきた際、この奨学金の存在を教えるといった流れが定型化されると嬉しいです。
- ◆この制度は生協の事務員の方から教えていただき、応募いたしました。それまでは存じ上げる機会が少なく、支援の気持ちを持った人、支援してほしい人に十分伝わっていないのかなと感じました。各大学のオリエンテーション等で取り上げる機会をより増やしていただきたいと思いました。
- ◆私は制度の存在を大学の掲示板で知りましたが、コロナ禍で対面授業が減っている中、大学に行く回数も少なく、制度に気づかない人もいるのではないかと感じました。大学にもよるかもしれませんが制度の周知にもっと力が入っていると良いのではないかと思います。

大学生協がある学校へ案内を行い、少しずつご協力を得られてはいますが、全体的にまだまだ認知度が低い状況です。2022年度、各学校へ当制度の案内を直接お送りしたことをきっかけに、学校HPへの掲載などをしていただく場合も出てきております。学生支援につながる事でもありますので、ご協力いただけるよう引き続き取り組みを進めていく必要があります。



課題② 奨学事業への共感を広め、賛助会員数・寄付を増やす

- ◆自分はこの制度を、奨学金の相談に行った際に初めて知ったので、助けが必要な人だけではなく援助をしてくれる人を見つけるためにも多く宣伝をしてもいいと感じました。
- ◆共済金を請求する時にこの制度を初めて知った。生協加入時などにも上手く知らせできれば寄付する人が増えると思う。

当財団の財政は、主に大学生協による賛助会費・寄付金によって支えられています。しかしながら、各大学生協の経営は大変厳しい状況となっています。今後、さらに多くの学生の学業継続を応援していくためには、より奨学事業への共感と協力を大学生協以外の方も含め、幅広く得る必要があります。地域生協をはじめ、大学生協以外の団体法人へのご協力お願いの働きかけ、オンライン寄付を通じた個人賛助会員の募集に力を入れて、より奨学事業への共感を得られるよう働きかけます。

課題③ 大学生協利用者や CO・OP 学生総合共済加入者への制度周知徹底

- ◆制度については、偶然サイトを見つけることができたために応募することができました。もう少し大学生協の HP などの分かりやすい部分にリンクを置くなどしていただけると、同じ境遇になってしまう人が助かると思いました。
- ◆私は、この奨学制度の存在自体を学生共済の書類で偶然知りました。そのため、今後私と同じような状況の学生がすぐにこの制度を見つけられるような情報発信があるとよいのではないかと思います。
- ◆SNS で偶然知ることができました。生協の掲示板等があればもっと早く知れたかもしれません。

HP 用バナーを更新し、各大学生協 HP を見た際に当制度を見つけやすくするよう働きかけています。しかしながら、まだ古いバナーを使用している・未設置のところもあるのが現状です。バナー設置を進めることで、ネットからの見つけやすさを高めるよう取り組みを進めてまいります。

課題④ 販促ツール・SNS を使った広報

- ◆この制度をもっと多くの方に認知してもらうためにも、SNS やチラシなどで紹介していただけたらと思います。将来は同じ境遇の方々の力になれるように努めてきたいと思います。
- ◆もう少し大々的に存在を知らせるようになっていただけると助かります。家族が亡くなりその後落ち込んだり、事務処理などを行っていたりすると、あっという間に月日が流れ、学校に貼ってあるポスターを見つけるのにかなり時間がかかりました。



Twitter でのフォロワー数は 362 です。(2022 年 11 月末時点)

また、各大学生協ではチラシ・ポスター・ヘルムぬいぐるみや募金箱の販促ツール設置でご協力いただいております。「ヘルム」という財団キャラクターを使って、さらに当制度を広めていきたいと思っています。

課題⑤ 給付を受けた学生とのつながり

- ◆自分が支援を必要とする立場になって、このたすけあい奨学制度について知りました。他の受給者のメッセージを読んで、まだ自分も受け入れられていないのだと気づき、同じ境遇にある方の言葉だからこそ、今の自分にすっとはいってきました。寄付者の温かいメッセージなども読んで、もっとこの制度は知られてほしいなと思いました。とても心強く、頑張ろうと思えました。
- ◆Twitter のメッセージが見やすかったです。励まされたので、これはぜひ続けてほしいです。
- ◆このアンケートを通して、どのように仲間に届くのかを知りたい。

Twitter や HP で毎月、受給者や寄付者のメッセージを公開しています。アンケートでは、扶養者を亡くされた学生に対する励みになるとのお言葉もいただいております。また、卒業生へアンケートをお送りしてアンケート結果を HP へ掲載しました。過去給付を受けた方も後輩へメッセージを贈るという形でつながりを作ることができました。将来的には、寄付や賛助という形でもつながりを作っていければと考えております。

課題⑥ 中期構想の策定

- ◆月々の奨学金などの制度が設けられていると助かる学生が多いのではないかと考えています。
- ◆もう少し採用基準が明確になると、心理的に申請がしやすくなると思いました。
- ◆申請の期限をもう少し長くしていただけると、救われる人が増えると思います。
- ◆同じ境遇にある就活活動を行なっている学生に別枠で学業に専念する方や、就活などで他県に行く際に多額の移動費や、滞在費を負担する方に向けての支援金の給付があれば、学生側の精神的な負担が少しは減ると思います。

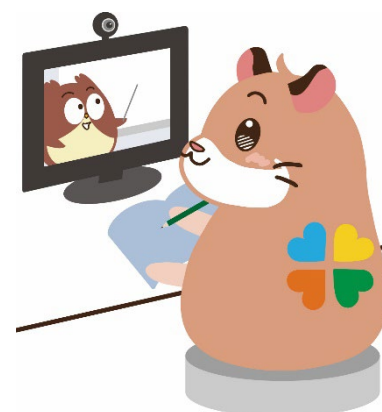
当制度は扶養者を亡くされた学生へ返還不要の奨学金 10 万円を一括給付する制度ですが、他の奨学制度を求める声もいただいております。他の制度を検討するには、事業と財団を継続・発展させていくことが必要不可欠です。今後の公益財団法人化の展望を行っている等の状況を踏まえて、地域生協等への共感を拡大し参加を広げる組織づくり、中期的なビジョン・計画を策定していきます。

課題⑦ 事務の安定化・効率化

- ◆メールや写真で申請できることが便利でした。郵送は時間やお金がかかるので、このような申請方式はとても良いと思いました。
- ◆下宿をしていると必要書類の受け渡しに時間がかかるので、出願がオンライン可能であることが非常に助かりました。
- ◆父が亡くなって様々な手続き書類が必要になって混乱しているときに、ネットから申し込みができ、迅速に対応いただけたことはとても有難かったです。
- ◆様々な書類をたくさん用意しなければならない状況になりがちですので、1次審査と2次審査がまとまっていれば助かります。

コロナ禍を受けての学生を取り巻く就学環境は大きく変化しています。同時に応募・給付件数も増え、審査業務もより効率化を求められます。一昨年より WEB 応募を開始し、メール受付により申請書類の受領の流れも安定してきました。応募から給付までにかかる応募者の負担をさらに軽減できるよう、審査内容や方法を今後も検討してまいります。

また、寄付・賛助会員の利便性向上や管理、公益財団法人化を見据えた事務の安定化・効率化も課題となっております。審査業務以外に関する業務も、当財団内で安定して業務を行うことができるよう業務内容を見直し、安定化・効率化に向けた改善に努めます。



資料 ～奨学金給付者のアンケートより抜粋～

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)についてのアンケート

大学生協奨学財団では、給付を受けた皆様にアンケートをお願いしています。
この制度の充実をはかり、一人でも多くの学生に給付ができる様にしていきたいと考えております。
給付対象となった学生の生活の実態や大学生協学業継続奨学制度の使途、この制度についての要望など、
率直な意見を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

以下の点について、学生ご本人がご記入または入力してください。手書きの場合はボールペンでご記入願います。

1. たすけあい奨学金を贈ってくれる全国の仲間にご挨拶をお願いいたします。

また、奨学金の主な使途予定をお願いします。

父が亡くなり、色々と苦しい中、この制度の存在を教えてもらいました。こんな風に助けてくれる方もいるんだなと少し心が救われました。ありがとうございます。奨学金は生活費並に資格取得の費用として使いたいと思います。

2. 扶養者がお亡くなりになってから、あなたの家族の生活にどのような変化がありましたか？

家計に強い影響が出てくるのは、もう少し先になると思います。私個人としては、父の介護がなくなったので、またアルバイトを始めました。特に変化が激しかったのは、兄で、上京先から戻り、今も新たな仕事を探しています。父の生前から持ち家などどうするかという問題はあったので、今はかなり悩ましい状況になっています。

3. 同じような境遇にある学生へ、あなたからひとことお願いいたします。

突然 家族を失い、失意に暮れていても、葬儀や相続の手続きで 休む暇も与えられずに 追いつめられてしまっている方も多いかと思います。今は不安で仕方がないと思いますが、この制度のように 助けてくれる人は います。まずは誰かに 相談してみてください。応援しています。

4. たすけあい奨学制度について、意見や要望があればお書きください。

Twitter のメッセージが見やすかったです。届きましたので、これはぜひ続けていってほしいです。

●アンケートの内容を奨学財団や大学生協の発行物に掲載する場合 ※チェックをつけてください。

☐ 実名での掲載希望 ☒ 匿名での掲載希望 ☐ 出さないでほしい

【※実名または匿名での掲載希望の場合・・・☐ 添字としてなら掲載してよい ☒ コピーを掲載してよい】

●今後、大学生協奨学財団からの情報提供 ※チェックをつけてください。

☒ 受けとる ☐ 受けとらない

記入日： 2022 年 2 月 15 日

お名前	札幌大学	4 年生
-----	------	------

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)についてのアンケート

大学生協奨学財団では、給付を受けた皆様にアンケートをお願いしています。

この制度の充実をはかり、一人でも多くの学生に給付ができる様にしていきたいと考えております。

給付対象となった学生の生活の実態や大学生協学業継続奨学制度の使途、この制度についての要望など、率直な意見を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

以下の点について、学生ご本人がご記入ください。ボールペンでご記入願います。

1. たすけあい奨学金を贈ってくれる全国の仲間にひとことお願いいたします。

また、奨学金の主な使途予定をお願いします。

たすけあい奨学金を贈ってくれて、ありがとうございます。奨学金は、学費に充てさせていただきます。親が亡くなり、精神的にも金銭的にも苦しい学生にとって、このような制度はとてもありがたい、励みになるものだと思います。
「受けられる」側から「受けよう」側に変わるよう、皆様からの支援に感謝と励みに頑張ります。

2. 扶養者がお亡くなりになってから、あなたの家族の生活にどのような変化がありましたか？

家族の存在が父が亡くなり、家族全員が、ほんやりと生活しているような気がします。
また、金銭面でも父が亡くなったことの影響は大きく、母が専業主婦と増やした、負担は大きくなりました。

3. 同じような境遇にある学生へ、あなたからひとことお願いいたします。

親を失うことのショックは大きく、わたしはもう諦め受け入れられていけい音声が大きい。7月に、今を大切に、自分の考えと興味に素直にならなければいけないことが、何よりも、亡くなったことを喜ばせられると信じて、頑張ろうと思っています。少しづつ、それぞれのペースでがんばってほしいと思います。

4. たすけあい奨学制度について、意見や要望があればお書きください。

私は、大学生協が奨学金の申請を申し込みに、生活費の方からこれらの制度と関係して頂くように。掲示板などでも告知しても、必要な人に確実に届くのが良いと思います。
また、父が亡くなった後、様々な手続きや書類が必要になり、混乱している時に、ネットから申し込めば、迅速に手続きが完了することと、とても有難いと思います。

● アンケートの内容を奨学財団や大学生協の発行物に掲載する場合

A) 実名でもよい

☒ B) 匿名での掲載希望

※記号に○をつけてください。

C) 出さないでほしい

【 ※上記AまたはBの場合・・・ 】

イ) 活字としてなら掲載してよい

☒ D) コピーを掲載してよい

● 今後、大学生協奨学財団からの情報提供

☒ A) 受けとる

B) 受けとらない

記入日: 2022年 4月 22日

お名前		千葉大学	3年生
-----	--	------	-----

2022 年度 大学生協奨学財団 決算概要

- 資産は 70,302 千円で前年より 19,023 千円増加しました。
負債は 816 千円、正味財産は 69,486 千円となりました。
- 1 年間を通してコロナ禍特別対応を行いました。寄付や賛助会費等の収入が大きく増えた分、奨学金支給の伸長を支えました。事業経費も増加しましたが、これを差し引いても正味財産は前年より 22,733 千円増加し、事業の継続・安定化に向けた財政の強化が図れました。
- 寄付・賛助会費収入は以下の通りです。
 - ・大学団体賛助会費Ⅰ 1,000 千円(一般) 大学生協連・大学生協共済連のみ
 - ・大学団体賛助会費Ⅱ 10,110 千円(指定) 各大学生協
 - ・特別団体賛助会員 2,700 千円(指定) 協同組合・企業等
 - ・個人賛助会員 232 千円(指定)
 - ・寄付 45,943 千円(指定)
- 事業費は、奨学金給付が 40,960 千円で前年から 25%増加しました。管理費は、5,322 千円で、前年より 347 千円増加となりました。郵送物などの増加で通信運搬費、キャラクター普及に伴う広報宣伝物、WEB サイトの充実やオンラインでの寄付などでの費用が増加しました。

貸借対照表

2022年 9月30日現在

一般財団法人大学生協奨学財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,789,272	11,626,906	2,162,366
未収金	695,141	3,784,804	△ 3,089,663
流動資産合計	14,484,413	15,411,710	△ 927,297
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(基本) 定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
(特定) 奨学基金	52,730,678	32,705,231	20,025,447
特定資産合計	52,730,678	32,705,231	20,025,447
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	87,696	162,864	△ 75,168
その他固定資産合計	87,696	162,864	△ 75,168
固定資産合計	55,818,374	35,868,095	19,950,279
資産合計	70,302,787	51,279,805	19,022,982
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	816,601	4,526,206	△ 3,709,605
流動負債合計	816,601	4,526,206	△ 3,709,605
負債合計	816,601	4,526,206	△ 3,709,605
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(基本) 寄付金	3,000,000	3,000,000	0
(特定) 会費寄付金	52,730,678	32,705,231	20,025,447
指定正味財産合計	55,730,678	35,705,231	20,025,447
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	52,730,678	32,705,231	20,025,447
2. 一般正味財産	13,755,508	11,048,368	2,707,140
正味財産合計	69,486,186	46,753,599	22,732,587
負債及び正味財産合計	70,302,787	51,279,805	19,022,982

正味財産増減計算書

2021年10月 1日から2022年 9月30日まで

一般財団法人大学生協奨学財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(一般) 基本財産運用益	51	255	△ 204
基本財産受取利	51	255	△ 204
(一般) 特定資産運用益	230	105	125
特定財産受取利	230	105	125
(一般) 受取会費	23,042,000	10,000,000	13,042,000
大学団体賛助会員 I 会費) 指定振替	10,000,000	10,000,000	0
(一般) 受取寄付金	13,042,000	0	13,042,000
寄付) 指定振替	25,917,770	28,439,895	△ 2,522,125
(一般) 雑収益	25,917,770	28,439,895	△ 2,522,125
その他雑収益	29,248	4,400	24,848
その他雑収益	29,248	4,400	24,848
経常収益計	48,989,299	38,444,655	10,544,644
(2) 経常費用			
事業費	40,960,000	30,440,000	10,520,000
奨学支給 (一時金)	40,960,000	30,440,000	10,520,000
管理費	5,322,159	4,974,182	347,977
旅費交通費	44,980	0	44,980
通信運搬費	546,271	393,646	152,625
消耗品費	49,533	369,345	△ 319,812
委託料	2,599,789	2,389,098	210,691
減価償却費	75,168	75,168	0
租税公課	80,800	102,550	△ 21,750
広報啓発費	1,925,618	1,644,375	281,243
経常費用計	46,282,159	35,414,182	10,867,977
当期経常増減額	2,707,140	3,030,473	△ 323,333
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,707,140	3,030,473	△ 323,333
一般正味財産期首残高	11,048,368	8,017,895	3,030,473
一般正味財産期末残高	13,755,508	11,048,368	2,707,140
II 指定正味財産増減の部			
(指定) 受取会費	13,042,000	12,184,000	858,000
奨) 大学団体賛助会員 II	10,110,000	9,810,000	300,000
奨) 特別団体賛助会員	2,700,000	2,200,000	500,000
奨) 個人会費	232,000	174,000	58,000
(指定) 受取寄付金	45,943,217	33,900,558	12,042,659
奨) 法人寄付	22,719,950	2,500,000	20,219,950
奨) 個人寄付	23,223,267	31,400,558	△ 8,177,291
指定から一般正味財産への振替額	△ 38,959,770	△ 28,439,895	△ 10,519,875
振) 受取会費	△ 13,042,000	0	△ 13,042,000
振) 受取寄付金	△ 25,917,770	△ 28,439,895	2,522,125
当期指定正味財産増減額	20,025,447	17,644,663	2,380,784
指定正味財産期首残高	35,705,231	18,060,568	17,644,663
指定正味財産期末残高	55,730,678	35,705,231	20,025,447
III 正味財産期末残高	69,486,186	46,753,599	22,732,587

※正味財産とは、「資産から負債を差し引いたもの」のことを言います。言い換えると、自己資本にあたるものです。ただし、使途が奨学金支給に限定されている寄付者(賛助会費を含む)から受け入れた財産のことを「指定正味財産」と言い、それ以外の正味財産を「一般正味財産」と言います。財団の事業経費は、「一般正味財産」で賄われます。

2022年度 たすけあい奨学制度 給付・寄付・賛助会費一覧表

【大学団体賛助会員Ⅱ 給付・寄付・賛助会費一覧】

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助口数		22年度 寄付人数 ※報告があった 人数のみ
	21年度 (2020. 10-2021. 9)		22年度 (2021. 10- 2022. 9)		累計 (1992. 10- 2022. 9)		21年度	22年度	21年度	22年度	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付					
北海道大	7	5	5	3	203	52	520, 235	126, 790	10	10	6
北海学園	3	3	1	1	90	33	152, 466	83, 075	10	10	21
酪農学園	2	2			48	22	8, 100	27, 000	5	5	4
札幌学院大	1	1	1	1	54	23	42, 000	32, 884	1	1	6
北星学園	1	1	1	1	40	19	35, 000	27, 000	10	1	9
北海道教育大	3	1	5	5	54	18		3, 500	10	10	1
札幌大	2	2	5	5	70	39		10, 000	3	3	
小樽商科大	2	2	1	1	32	12	3, 206		3	3	
室蘭工業大	1	1	1	1	57	23	272, 390	316, 338	1	1	45
帯広畜産大			1	1	18	8		5, 808	2	2	
北見工業大					36	14	14, 049		5	5	
釧路公立大	1	1			9	6	9, 990	11, 244	3	3	
公立はこだて未来大	1	1	1	1	5	5		2, 000	1	1	
旭川大										1	
北海道ブロック	24	20	22	20	716	274	1, 057, 436	645, 639	64	56	92
弘前大	2	2	4	3	78	36	667, 831	978, 152	10	10	191
岩手大			5	5	116	34	436, 833	385, 300	7	7	1
秋田大	1		3	3	79	26	294, 080	179, 563	5	5	49
東北大	6	5	6	6	241	75	1, 068, 000	532, 058	15	15	73
東北学院大	11	8	6	5	147	71	126, 037	115, 393	15	15	83
東北工業大					25	6		84, 885	5	5	67
宮城大					15	8	33, 848	10, 262			104
宮城教育大	1	1	1	1	20	6			3	3	
山形大	3	3	11	11	155	61	144, 999	15, 569	10	10	1
福島大	1	1	2	2	50	22		19, 105	3	3	1
尚絅学院大			4	4	13	7		94, 224	3	3	32
盛岡大			1	1	41	18	7, 630	4, 000	3	3	
宮城学院	1	1	1	1	33	13	8, 000	15, 000			
弘前学院	1				5	1					
みやぎインカレコープ	1	1	1	1	12	8	13, 359	173, 102	2	2	73
岩手県立大	1	1	1	1	4	3		1, 600	1	1	
東北ブロック	29	23	46	44	1, 034	395	2, 800, 617	2, 608, 213	82	82	675
埼玉大	3	2	3	3	109	34	21, 571	44, 000	10	10	
跡見学園女子大					30	9					
お茶の水女子大	1		1		35	8	42, 000	61, 013	1	1	
東京医科歯科大			1	1	15	5		9, 191	2	1	
武蔵学園			3	1	52	15	125, 500	301, 232	1	1	129
東京芸術大	2	2	2	1	36	10					
日本女子大					36	10	145, 000	315, 000	7	7	39
東洋大	2	1	6	5	86	39	141, 000	139, 700	10	10	15
大東文化学園	2		1	1	84	31		58, 219	3	3	10
十文字学園			2	2	15	6			1	1	
淑徳大みずほ台					8	2		1, 500	1	1	
東京大	7	5	10	4	310	68	607, 949	666, 388	20	20	42
東京理科大	2				111	36	163, 000	1, 000	1	1	1
東京電機大	1	1	2	2	66	23	348, 000	295, 800	7	7	32
千葉大	2	1	5	5	162	47	109, 062	18, 500	15	15	3
千葉商科大	1	1	1		29	13			7	7	
東邦大	1	1	2	2	29	16	38, 000	4, 000	2	2	1
芝浦工業大			6	3	101	33	1, 140, 930	1, 081, 500	10	10	218
東京・総武エリア	24	14	45	30	1, 314	405	2, 882, 012	2, 997, 043	98	97	490
慶応義塾	5	2	7	5	259	69	785, 098	1, 061, 190	50	50	
東京海洋大			1	1	22	6	144, 000	146, 697	1	1	34
横浜国立大	1	1	4	2	154	46	107, 197		10	10	
横浜市立大	1	1	1	1	42	10	40, 000	4, 000	5	5	2
東京工業大	2		1	1	76	17	531, 981	40, 444		7	1
明治学院			2	2	111	40	236, 324	60, 000	15	15	22
東京都立大	4	3	3	2	110	30	108, 000	119, 796	5	5	17
星薬科大	1		1		9	1	73, 195	57, 499	10	10	8
宇宙科学研究所									1	1	
東京農業大	4	3	1	1	91	44	462, 625	65, 630	20	20	4
神奈川大	9	8	5	4	194	73	73, 000	115, 500			11
昭和大学					20	8	11, 000	63, 000			
東京工芸大	1	1			54	16	45, 000	37, 000			4
日本赤十字看護					2	1					
和光学園			2	2	37	12			5	5	
桜美林学園	1	1	3	2	71	25	134, 581	506, 761			26
麻布大					36	9	121, 601	176, 711	5	5	465
東京・南エリア	29	20	31	23	1, 288	407	2, 873, 602	2, 454, 228	127	134	594

2022年度 たすけあい奨学制度 給付・寄付・賛助会費一覧表

【大学団体賛助会員Ⅱ 給付・寄付・賛助会費一覧】

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助口数		22年度 寄付人数 ※報告があった 人数のみ
	21年度 (2020. 10-2021. 9)		22年度 (2021. 10- 2022. 9)		累計 (1992. 10- 2022. 9)		21年度	22年度	21年度	22年度	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付					
法政大	6	4	13	9	272	92	68,920	1,500	2	2	
早稲田大	12	8	16	6	631	179	10,000	5,000	20	20	1
工学院大学学園	4		1	1	80	25	16,440	83,200	3	3	10
東京外国語大					47	17	138,000	76,000	5	5	5
東京工業高専	1	1			4	4	81,532	2,000	1	1	
東京経済大	1		4	3	118	32	189,853	239,000	2	2	17
東京学芸大	2		4	3	91	34	425,500	363,500	3	3	100
東京農工大	1		2	2	78	21	553,601		1	1	
電気通信大			4	4	59	19		80,906	1	1	
東京薬科大			1		41	14	50,000	24,500	5	5	1
一橋大	2	1	2		48	14	21,450	121,096	5	5	24
津田塾大					28	10	15,561	123,000	5	5	18
白梅学園			1	1	12	4		2,000	2	2	
日本獣医生命科学大					18	3	51,000	35,000	1	1	
日本社会事業大	1	1	1	1	7	5	58,620	70,000	1	1	26
明治薬科大	4	3	1	1	24	11	20,000		3	3	
東京インカレコープ	4	4	9	8	124	60	255,000	245,000	5	5	49
東京・武蔵野エリア	38	22	59	39	1,682	544	1,955,477	1,471,702	65	65	251
群馬大	1	1	1	1	80	19			7	7	
高崎経済大			1	1	65	25	141,420	41,303	5	5	2
宇都宮大	3	3			58	12	17,000	3,000	5	5	2
足利大			2	2	30	8	9,000	10,525	3	3	
茨城大	1	1	2	2	84	33	69,360	442,573	10	10	13
茨城リソテック学園			5	4	16	12	10,486	9,303	1	1	1
信州大	5	4	6	6	198	56	1,790,351	553,782	15	15	310
長野大					16	8	8,043	2,000	3	3	
長野県立大					8	3			2	1	
新潟大	5	4	8	7	178	65		5,000	15	15	1
山梨大	2	1	4	3	44	13		3,173	5	5	
新潟県立大	1	1	2	2	13	6			3	3	
太田情報・医療・自動車専門学校			1		2				3	3	
新潟青陵大・短期大	1	1	2	2	4	4				3	
長野県看護大			1	1	2	2	60,173	4,375	1	1	
松本大					9	5			5	1	
清泉女学院								1,500	3	3	
山梨県立大					4	3		1,500	2	2	
前橋工科大	1		1	1	4	2				2	
東京・北甲エリア	20	16	36	32	815	276	2,105,833	1,078,034	88	88	329
静岡大	9	8	8	7	164	68	208,348	336,600	10	10	59
愛知大	2	1	2	1	131	50	48,000	315,334			191
名古屋大	4	4	5	4	166	56	644,010		15	15	
愛知教育大	4	4	5	2	85	33	805,817	84,485	5	5	1
名古屋工業大	1	1	2		38	8	363,000	279,000	5	5	63
名古屋市立大	1	1	2	2	36	13	394,300	423,593	3	3	84
愛知県公立大	2	2	2	1	42	16	247,000	74,000	3	3	21
日本福祉大					65	23	168,310	204,246	3	3	69
岐阜大	6	6			98	26	536,658	492,065	7	7	40
三重大	3	3	3	3	119	36	166,703	174,700	7	7	41
三重短期大					14	6	3,000	7,000		3	7
中京大	8	7	4	3	183	77	574,156	593,496	1	1	472
名城大	6	5	2	2	20	12	1,110,115	100,501	10	10	
岐阜市立女子短大			1	1	4	2	25,341	28,429	2	2	8
自然科学研究機構岡崎					1	1	44,106				
金城学院大	3	2	6	5	31	22	219,476	25,000	5	5	
三重県立看護大					3					2	
インカレコープ愛知			3	3	9	6	126,500	209,000	3	3	
静岡文化芸術大	2	2			6	5	205,990	108,454	3	3	12
日赤豊田看護			1	1	1	1		35,871	2	2	
東海ブロック	51	46	46	35	1,216	461	5,890,830	3,491,774	84	89	1068
富山大	2	1	3	2	100	29	87,911	32,500	10	10	18
金沢大	1	1	6	4	131	33		430,645	5	5	211
福井大			3	2	67	24		3,000	5	5	
石川工業高専			1	1	3	1	7,286				
富山県立大			2	1	8	4		5,000	1	1	
富山高専			1		5	4					
関西・北陸エリア	3	2	16	10	314	95	95,197	471,145	21	21	229

2022年度 たすけあい奨学制度 給付・寄付・賛助会費一覧表

【大学団体賛助会員Ⅱ 給付・寄付・賛助会費一覧】

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助口数		22年度 寄付人数 ※報告があった 人数のみ
	21年度 (2020. 10-2021. 9)		22年度 (2021. 10- 2022. 9)		累計 (1992. 10- 2022. 9)		21年度	22年度	21年度	22年度	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付					
京都大	8	4	11	7	326	73	520,000	265,500	20	20	
同志社	14	9	12	10	248	112	616,618	814,381	20	20	177
立命館	17	12	14	12	415	171	1,053,945	1,245,465	20	20	
京都府立医大・府立大			2	2	33	10	28,330	4,000	5	5	
龍谷大	4	4	4	3	231	93	804,142	432,246	20	20	187
京都教育大	1	1			26	13	60,800	3,800	3	3	3
京都工芸繊維大			3	2	65	20	8,189	602,777		1	
滋賀県立大			2	2	15	7	19,027	243,000	3	3	81
滋賀大大津地区			1	1	24	9		1,500	1	1	
滋賀大彦根地区					28	7	98,161	77,000	3	3	16
京都橘学園			1	1	25	11	106,800	46,698		10	17
奈良女子大	2	1	1	1	31	8	28,000	14,088	1	1	
奈良教育大			1	1	27	9					
奈良県立大	1				5	3					
京都経済短期大					2						
奈良工業高専					7	2	8,400	15,279	1	1	
滋賀医科大			1	1	8	5		16,187	1	1	
関西・京滋奈良エリア	47	31	53	43	1,516	553	3,352,412	3,781,921	98	109	481
大阪インカレコープ			6	6	22	11	468,970	431,500	5	5	86
近畿大	5	3	7	5	210	85	667,000	5,000	10	10	
大阪経済大	3	1	1	1	71	29					
大阪教育大	1	1	3	2	76	23		1,500	1	1	
阪南大	1	1	3	3	61	13			5	3	
大阪大	10	8	7	5	316	87		18,000	20	20	3
大阪電気通信大	2	2	3	3	56	24	266,747	186,804	3	3	240
和歌山大			1	1	46	15	15,000		5	5	
大阪公立大	1	1	3	2	147	43	24,793	6,050	5	5	
大阪千代田短期大					5	2		3,000		1	
大阪樟蔭女子大			1	1	3	3	5,000		5	5	
和歌山県立医科大			1	1	7	3			2	2	
千里金蘭大			1		2			3,135			
神戸大	6	4	8	6	203	62	105,009	30,000	1	1	12
関西学院大	7	6	10	8	231	76	490,228	315,616	20	20	
神戸外国語大	1	1	1	1	36	15					
甲南大	1	1	3	3	90	30					
兵庫県立大	5	4	2	2	92	28	1,000	12,619	7	7	1
神戸薬科大	1		1	1	7	2	114,000	167,000			21
神戸親和女子大	1	1	1	1	24	14			3	3	
園田学園女子大					21	7					
大手前大	1	1			27	11		8,944	1	1	
甲南女子大	1	1	1	1	23	12			1	1	
神戸市立工業高専			1	1	1	1	5,722	1,500			
関西・大兵和エリア	47	36	65	54	1,777	596	2,163,469	1,190,668	94	93	363
香川大	2	2			85	33			5	5	
四国学院	2	2			35	15			1	1	
高知大	2	1	2	1	86	29	504,790	192,975	2	2	138
松山大	3	3	2	2	104	44	222,742	209,729	7	7	306
愛媛大	1	1	8	8	159	64	565,088	11,380			2
広島大	5	4	4	3	215	69	521,970	523,989	15	15	36
広島修道大	3	3	1	1	100	36	69,614	59,452	7	7	
徳島大	3	3			138	52	297,158	134,928	7	7	56
下関市立大	2	2	1	1	38	15	51,852		3	3	
鳥取大	1	1	1	1	81	36		381,000	10	10	71
水産大学校	1	1	2	2	16	7		1,500	2	2	
岡山大	9	6	4	3	114	50	557,000	541,115	15	15	145
山口大	2	1	2	1	92	34	143,103	8,183	10	10	1
就実	1	1	1	1	3	3		1,500			1
高知県公立大	2	2	3	3	23	12	464,500	369,870	1	1	179
梅光学院大			3	2	8	6	28,000	34,000	2	2	18
島根大	2	1	5	5	38	21	223,000		7	7	
松山東雲女子大・短期大			2	2	5	3					
福山市立大					1	1		3,500	2	2	1
山口県立大										1	
中四ブロック	41	34	41	36	1,341	530	3,648,817	2,473,121	96	97	954

2022年度 たすけあい奨学制度 給付・寄付・賛助会費一覧表

【大学団体賛助会員Ⅱ 給付・寄付・賛助会費一覧】

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助口数		22年度 寄付人数 ※報告があった 人数のみ
	21年度 (2020.10-2021.9)		22年度 (2021.10-2022.9)		累計 (1992.10-2022.9)		21年度	22年度	21年度	22年度	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付					
福岡インカレコープ			3	3	15	11			3	3	
福岡教育大	2	2			24	9	69,262	63,286			13
九州工業大	4	4			119	39	79,162				
北九州市立大	2	2	3	3	112	42					
佐賀大	4	3	2	2	116	50			3	3	
宮崎大	4	4	4	4	67	21	107,489	101,250			
鹿児島大	1	1	4	4	168	64	27,752		10	10	
琉球大			3	3	118	32	2,133	15,259			1
鹿児島県立短大					4		2,067				
沖縄大					8	4					
福岡女子大					7	4					
九州大	8	6	4	4	146	62					
西南学院大	4	4	8	6	61	27	14,775	20,507			
長崎県立大佐世保校	1	1			31	16	23,504	20,872			
長崎大	6	5	3	3	81	30	81,681	93,698	10	10	3
熊本大	4	4	4	4	148	58	30,000	32,473	10	10	
大分大	1	1	3	3	60	30			7	7	
福岡県立大	1	1			17	7					
純心大(長崎純心大)			2	1	12	6					
南九州大	1	1	1	1	17	8	15,066				
九州国際大	2	2	2	2	11	11	4,000		3	3	
長崎県立大シーボルト校	1	1			9	4	10,000	10,000	2	2	1
立命館APU			2	2	25	13	36,491	87,045			
熊本インカレコープアカデミア	2	1			6	5			1	1	
西南女学院大	1	1	1	1	4	3	1,628		1	1	
九州ブロック	49	44	49	46	1,386	556	505,010	444,390	50	50	18
資格外	3		22		25						
その他(個人)					295	55	1,447,611	356,522			52
事業連合、大学生協連合会							4,569,846	358,867		30	1
ブロック								4,000			2
一般団体											
協同組合・地域生協								22,719,950			
総計	401	308	509	412	14,694	5,147	33,900,558	46,547,217	967	1,011	5,599
※審査・給付件数累計は、勉学援助制度+たすけあい奨学制度の合計です。								未加入会員数	52	41	
※賛助口数は、申請があった口数を表記しています。								賛助会員数	161	174	

【個人賛助会員 賛助会費一覧表】

	21年度	22年度
個人賛助会員口数 ※1口2,000円	87	130
個人賛助会員人数	28	47

【大学団体賛助会員Ⅰ 賛助会費一覧表】

	21年度	22年度
全国大学生協連 ※1口1,000,000円	5	5
大学生協共済連 ※1口1,000,000円	5	5

【特別団体賛助会員 賛助会費一覧表】

団体・企業名 ※1口100,000円	口数
三井住友海上火災保険株式会社	10
TD SYNEX株式会社	10
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2
株式会社富士通パーソナルズ	1
共栄火災海上保険株式会社	1
こくみん共済coop	1

合計口数 25